

DEGAM鶴岡 ICTアンケート調査

令和7年上半期(4～9月)

【調査期間】 令和7年4月1日～9月30日 ※令和2年3月13日より継続中

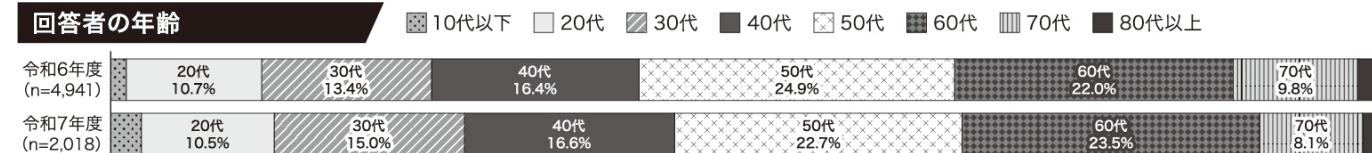
【調査対象】 鶴岡市を訪れた観光客

QRコード付きの名刺カードを市内宿泊施設や主要観光施設等に設置。主なカード設置施設は以下のとおり。
 【調査方法】
 ・市内4温泉の宿泊施設並びに市内ビジネスホテル(53施設)
 ・市内の主な寺社、観光・物販施設、道の駅等(17施設)
 ・鶴岡市観光案内所、庄内空港インフォメーションカウンター(2施設)

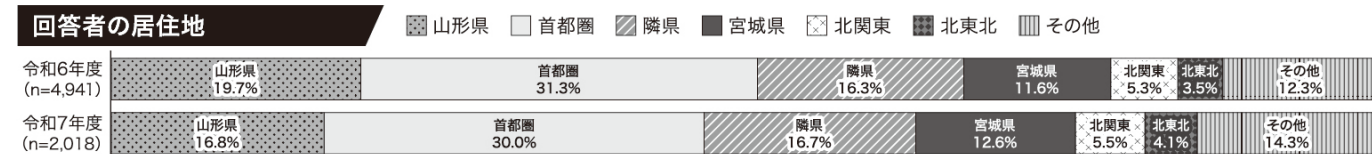
【調査項目】 Webアンケート(旅行者プロフィール、旅行目的等)

【回答者数】 2,130人(前年同期比1,322人減)

【調査協力】 静岡県立大学経営情報学部渡邊研究室



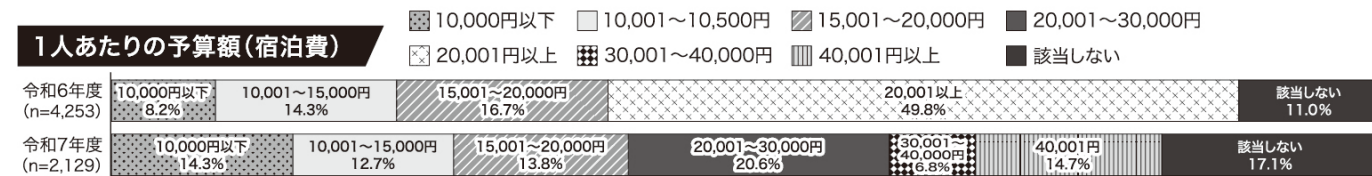
➡ 回答者の年齢割合に大きな変化はなし。前年比で10代の回答が増加。



➡ 山形県内を除くと隣県と首都圏の比率が高く、特に宮城・新潟両県を主とする隣県は高い割合を示している。



➡ 「日帰り」と「2泊3日」が増加する一方、「1泊2日」は年々減少傾向。7～9月は「日帰り」の率が特に高い。



➡ 宿泊費予算は2%増加した一方、旅行全体の予算は2%減少。特に食費に対する予算額が低下している。日帰り率の増加、物価高騰等による宿泊費上昇の影響も考えられるが、移動費や土産代含めて全体的に節約傾向。

昼食

旅行中の昼食のジャンル(複数選択)上位3つは「海鮮・寿司」33.3%、「ラーメン」31.4%、「うどん・そば」29.0%と変化なし。前年に比べて「その他」(カフェランチ等)9.4%と「コンビニ」5.7%の増加率が高くなった。

鶴岡を選んだ理由

「地元ならではの食がある」が最も多く、以下「魅力的な観光スポットがある」「景色の良さ」が続く。「パワースポットがある」や「アクティビティ(登山、海水浴、スキー等)ができる」といったアウトドア関連が低順位だった。

- 結果から見てくる今後の課題**
- アウトドア系「アクティビティ」の観光商品開発および受入れ体制整備
 - 山形県全体を一つの観光スポットとする広域連携(酒田、山寺、銀山温泉等)

**QR付き名刺カード
設置事業者を募集中!**

回答数を増やすことで調査結果の偏りが少なくなり、データの正確性が高まります。より多くの観光客の方にカードが行き渡るよう、皆様のご協力をお願いいたします!

■お問合せ先/DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー(押井・酒井)

昨今、訪れるべき観光地としてアメリカの大手観光メディア等で取り上げられ、注目を浴びている鶴岡市。国内外の観光客増加が見込まれる中で、現状を把握し、どのように備えておくべきかを考えることが重要です。観光地域づくり法人(DMO)DEGAM鶴岡ツーリズムビューローが実施している観光客動向調査の調査結果を、昨年に引き続き、会議所会員の皆様向けに抜粋して公開いたします!



鶴岡ふうどガイドによる庄内柿の説明

10 5 SUN
11 2 SUN
3 MON

鶴岡ふうどガイドとめぐる食と歴史 まちなか歩き 2年目

観光客が「旅ナカ」で気軽に参加できる予約不要の短時間まち歩きツアーを実施しました。本ツアーは鶴岡ふうどガイドと鶴岡市観光ガイドがリレーで案内するのが特徴です。今回は、昨年の反省をふまえ、市内循環バス利用を想定した時間帯に設定し、所要時間も3時間から1時間半に短縮。宣伝はSNSでの情報発信の他、チラシ設置を駅周辺の宿泊施設から湯田川温泉と湯野

◇行程/藩校致道館→大督寺(学校給食発祥の地)→庄内神社→鶴岡公園(庄内柿の父・酒井調良胸像)→市役所
 ◇参加者/13名

近年、本市の海外プロモーションが活発化の中で、インバウンド



受入れの環境整備は急務となっています。当会議所では昨年に引き続き飲食店等を対象とした「食の多様性」の基礎講座を2回シリーズで開催。今回は参加者がSNSを活用した情報発信のコツを学ぶ内容も追加しました。講師の守護氏から「普段提供しているメニューをほんの少し変えるだけ。もしヴィーガン

対応メニューが一つ出来れば、アレルギー保有者や肉を苦手とするシニア層等の日本人客の誘客にも繋がる。」とアドバイスいただきました。当会議所では、本市がユネスコ食文化創造都市として多様な食を提供できる街に、そして会員事業所の売上増加に繋がるよう、引き続き取り組んでまいります。

- ◇場所/鶴岡商工会議所会館2階大会議室
- ◇講師/1回目:フードバイバーシティ(株)代表取締役 守護彰浩氏
2回目:㈱mov 訪問ラボインバウンド支援事業部長 川西哲平氏
フードバイバーシティ(株)海外事業部 ナザヤ・ブライカ氏
- ◇参加者/1回目:11名(申込14名)、2回目:12名(申込16名)
- ◇後援/鶴岡食文化創造都市推進協議会

ヴィーガン&ハラル食の多様性セミナー 2年目

最新のMR(Mixed Reality)技術を体験

メディアアートでバイオを体験

陽内環境の大切さを楽しく学ぶ

富田勝名教授と地元高校生のトークセッション

「クマムシ」の採取・実験・観察体験

今年、来場者数は2,000人超となり前回より増加しました。出展ブースは45、キッチンカーは17、その他来場者プレゼントやフォトスポットも設置し、子どもから大人まで楽しめる多彩なプログラムが満載でした。通常非公開の研究施設を特別開放し、最先端の研究設備や実験の様子を間近で見学できる機会を提供したほか、顕微鏡による微生物の観察、バイオクラスター形成促進事業の活用事例の紹介など、サイエンスの面白さを体験できる1日となりました。

鶴岡サイエンスパーク まつり2025

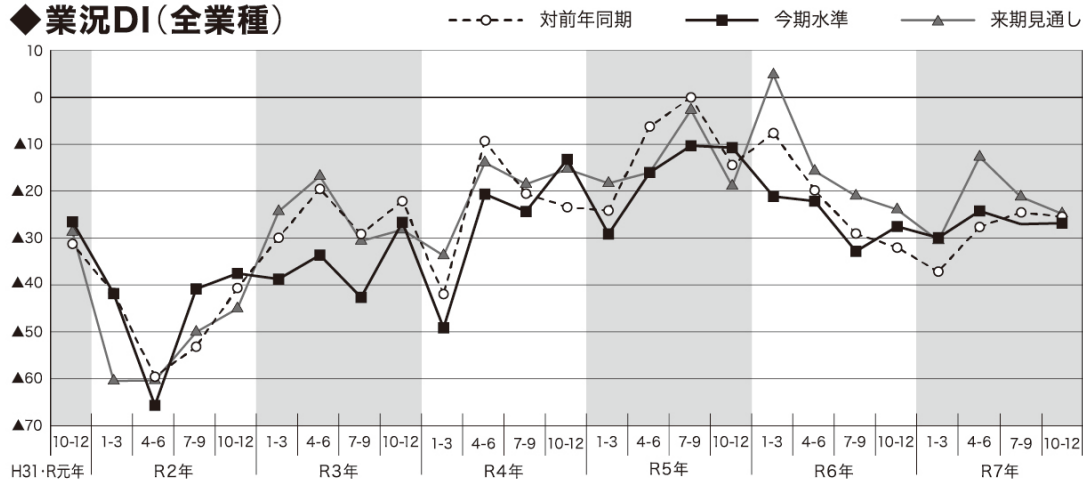
1 SAT

鶴岡商工会議所 景況調査

令和7年10～12月期

＊調査対象:会員事業所200社 ＊回答数:114社(回答率57.0%)

◆業況DI(全業種)



◆経営上の問題点

🏠 建設業

「材料価格の上昇」が最も多くなっており、次に「民間需要の停滞」と「人件費の増加」「従業員の確保難」が挙げられている。事業者からは、資材の高騰・人手不足・人件費の高騰など経営上の難問を複数抱えている、仕事量が不足しているなどの声があった。

🏭 製造業

前回同様、「人件費の増加」が最も多く、次に「原材料価格の上昇」が続いている。事業者からは、原材料費や燃料費・人件費の高騰により利益が圧迫されている、コスト増への対応が重要課題である、現時点では原価上昇に抗うことに精一杯で数年後の設備更新などができるか不安を感じているなどの声があがっている。

🚚 卸売業

前回調査と同様に「仕入単価の上昇」が最も多くなっており、次に「需要の停滞」と「人件費の増加」が続いている。事業者からは、商品値上げによる売上減が懸念される、DXに伴うITコスト・人件費などの様々なコストが増加する中での価格転嫁に悩むなどの声があった。

🏪 小売業

「仕入単価の上昇」が最も多くなっており、次に「人件費の増加」「人件費以外の経費の増加」「需要の停滞」が続いている。事業者からは、顧客の高齢化・ネット利用者の増加・物価高による買い控えなどにより厳しさは一層増している、温暖化の影響により四季が無くなっている、季節指数が読めないなどの声があがっている。

★ サービス業

「人件費の増加」が最も多くなっており、次に「従業員の確保難」と「材料等仕入単価の上昇」が続いている。事業者からは、顧客動向が読みにくい、物価高の影響で顧客の利用料金が低下しているため高騰している仕入原価や人件費等のコストを価格転嫁するのが難しいなどの声があがっている。

付帯調査

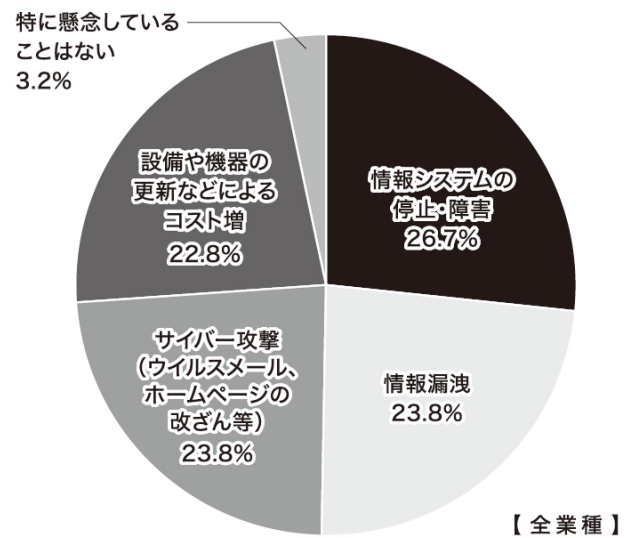


ITを活用する上で懸念されるリスクについて

近年、大手企業へのサイバー攻撃が問題となっているが、取引先を通じた侵入や業務メールを装ったフィッシング攻撃など、中小企業にも被害が拡大している。それに関連して、事業所でITを活用する上でどのようなリスクを懸念しているか調査を行った。

その結果、全体では「情報システムの停止・障害」と回答した事業所が26.7%と最も高く、続いて「情報漏洩」と回答した事業所が23.8%、「サイバー攻撃(ウイルスメール、ホームページの改ざん等)」が23.5%、「設備や機器の更新などによるコスト増」を懸念する事業所は22.8%、「特に懸念していることはない」が3.2%あった。

中には、ECサイトのドメインが不正利用されたという事業所もあった。



【全業種】

鶴岡市経済動向 資料を公開しています

地域経済の動きを知る為の資料としてご利用ください。



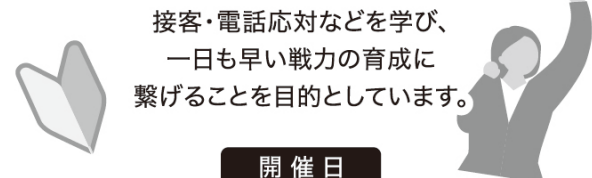
・今期水準(令和7年10-12月)は、0.2ポイント改善し▲26.8となった。

・対前年同期(令和6年10-12月)は、0.9ポイント悪化し▲25.4となった。

・来期見通し(令和8年1-3月)は、3.6ポイント悪化し▲24.8となった。

新入社員教育セミナー

「人材確保・人材育成への支援」事業として毎年3・4月の2回に分けて開催しております。社会人としての心構えから基本のマナー・接客・電話応対などを学び、一日も早い戦力の育成に繋げることを目的としています。



開催日

令和8年 3/23(月)、4/21(火)

時間 9:30～16:00

会場 庄内産業振興センター 第1・2研修室

講師 ㈱Fine HR 代表取締役 津田典子 氏

内容
●講師による講義
●グループでの意見交換・発表

参加対象
新規卒卒者で地元の事業所に採用が決定した方、入社後1年ぐらいまでの方

詳細は折込のチラシをご覧ください



小白川キャンパスの様子



米沢キャンパスの様子

企業が大学に出向いて、大学生とカフェ形式で交流する企業説明会で、山形大学キャリアサポートセンターをはじめ大学生協によるご協力のもと、昨年度に引き続き2回目の開催となりました。鶴岡地区雇用対策協議会の会員企業の若手社員と大学生がおやつを食べながら和気藹々と交流を深めました。参加企業からは、「学生と早い段階で接点をもてた」「専攻に促わらず、話を積極的に聞いてくれた」など、満足度の高い感想が寄せられました。

◇場所/山形大学 ①小白川キャンパス、②米沢キャンパス
◇参加者/①学生36名、企業11社 ②学生42名、企業11社

11月18日 TUE
19日 WED
大学生・若手社員交流会 @山形大学

アクサ生命

持病があっても、しっかりサポート！
変わらない保険料で、
入院・手術を一生涯保障します。

アクサの一生保障の医療保険
with You

限定告知型終身医療保険(無解約払戻金型)

80歳まで
お申込み
いただけます

持病の
悪化・再発
も保障

充実の特約で
さらに安心

※責任開始期前に、医師によりすすめられていた入院・手術・先進医療による療養については、給付金などはお支払いいたしません。

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ(弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など)を共済制度/福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社
山形支社 鶴岡営業所
〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町8-13 鶴岡商工会議所会館3階
TEL 0235-24-0896



保険に加入することを
あきらめていませんか？



●お引受けには所定の条件があります。本商品をご検討の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報・その他重要なお知らせ)」のご契約のしおり・約款を必ずご覧ください。

AXA-A1-1807-1152/9F7